

毎月三日、九日、十二日、十五日、十八日、二十一日、二十四日、二十七日、三十日、十回發行

# 縣報

第七百九十七號

明治四十一年八月廿一日

## 和歌山縣

○公文

○和歌山縣令第五十四號

明治四十一年七月縣令第三十號獸疫豫防令中「奈良吉野郡」ノ次ニ左ノ通追加ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年八月廿日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

一 廣島縣安佐郡

縣報第七百九十七號

明治四十一年八月廿一日

第三種郵便物認可

縣報第七百九十七號

明治四十一年八月廿一日

第三種郵便物認可

二

○和歌山縣告示第二百五十七號

大阪府及廣島縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲左記府縣令發布ノ旨通知アリタリ

明治四十一年八月十九日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

大阪府令第九十七號

牛疫豫防ニ關スル明治四十一年八月大阪府令第九十五號中停止區域ヲ左ノ通改正シ發布ノ日ヨリ之

ヲ施行ス

明治四十一年八月十二日

大阪府知事 高崎親章

一、第一號中天王寺村ノ下ニ「黒江村、住吉村、安立町」ヲ加フ

一、第二號中今宮村ノ下ニ「勝間村、粉濱村」ヲ加フ

大阪府令第九十八號

牛疫豫防ノ爲牛、羊等ノ輸入停止ニ關スル明治四十一年七月大阪府令第八十三號中輸入停止區域ヲ

左ノ通改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年八月十二日

大阪府知事 高崎親章

一福岡縣 一大分縣 一山口縣 一廣島縣 一岡山縣 一愛媛縣 一香川縣

一德島縣 一兵庫縣 一和歌山縣 一奈良縣 一三重縣 一滋賀縣 一東京府

廣島縣令第七十四號

明治四十一年七月廣島縣令第四十五號牛、羊ノ出入往來及病毒傳播ノ疑アル物品ノ運搬停止區域中

豊田郡忠海町ノ次ニ左ノ區域ヲ追加ス

本縣令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年八月 日

廣島縣知事 宗 條

政

豊田郡下北方村

○和歌山縣告示第二百五十八號

東京、奈良、滋賀、山口ノ各府縣ニ於テ左ノ通り牛疫發生撲殺セシ旨通知アリタリ

明治四十一年八月十九日

和歌山縣知事 伊 澤 多 喜 男

一東京府

八月十一日荏原郡ニテ二頭

一奈良縣

八月十一日南葛城郡ニテ一頭全十二日吉野郡ニテ一頭

一滋賀縣

八月七日栗太郡ニテ二頭全十日全郡ニテ一頭

一山口縣

八月六日豊浦郡ニテ五頭全七日全郡ニテ八頭

○和歌山縣告示第二百五十九號

縣下那賀郡田中村大字竹房ニ於テ和種牝牛一頭本月十二日炭疽ニ罹リ全日斃死セリ

明治四十一年八月十九日

和歌山縣知事 伊 澤 多 喜 男

○和歌山縣告示第二百六十號

府縣制第六十八條第二號ニ依リ縣診事會ノ議決ヲ經タル明治四十一年度和歌山縣歲入歳出追加豫

算左ノ如シ

明治四十一年八月二十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

明治四十一年度和歌山縣歲入歲出追加豫算

歲入

臨時部

第一款 繰越金 金百五圓

那收 入

第一項 前年度繰越金 金百五圓

臨時部計金百五圓

歲出

經常部

第九款 那役所費 金百五圓

第一項 俸給及諸給 金七拾圓

第二項 廳費 金參拾五圓

經常部計金百五圓

○和歌山縣告示第二百六十一號

和歌山市内在住恩給及扶助料

（小學校職員退  
課料ヲ除ク）

受領者ニ對スル支給期日等左ノ通相定ム其ノ受領者

ハ指定ノ當日其ノ證書ヲ當廳官吏ニ提示シテ檢閲ヲ受クヘシ

縣報第七百九十七號 明治四十一年八月廿一日 第三編郵便物部

印鑑ノ届出ナキ者ハ和歌山市長ノ證明ヲ受ケ之ヲ届出ヘシ其ノ改印シタルトキ亦同シ

明治三十九年<sup>六</sup>和歌山縣告示第百十五號ハ廢止ス

明治四十一年八月廿日 和歌山縣知事 伊澤多喜男

種別	支給日時及場所				支給時間	支給場所
	第一期	第二期	第三期	第四期		
文官恩給及遺族扶助料	四月十日	七月十日	十月十日	一月十五日	自午前九時 至午後三時	縣會議事堂
軍人恩給及遺族扶助料	同	同	同	同	同	同
公立學校 <small>小學校</small> ヲ除ク職員退 隱料及遺族扶助料	同	同	同	同	同	同
看守退隱料及遺族扶助料	同	同	同	同	同	同
巡查退隱料及 遺族扶助料	同	同	同	同	同	縣廳
巡查看守給助年金	三月十日	九月十日			同	同

賞 勳 年 金 六月十日 十二月十日

同 同

備考

休暇日ニ當リタルトキハ繰下クトス

縣會議事堂差支アル場合ニハ臨時他ニ變更スルコトアルヘシ

○和歌山縣告示第二百六十二號

左記ノ通定置漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録ス

明治四十一年八月二十一日

和歌山縣知事

伊澤多喜男

免許年月日 明治四十一年八月十八日

免許番号 七四壹

漁業ノ種類及名稱 魩類漁業

漁場ノ位置 有田郡八幡村大字違井字小池ニ沿ヒタル有田川筋穴辰東ノ岩ト西ノ岩トヲ見透シ

タル線内

漁獲物ノ種類 鮎

漁業時期 毎年九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間 參箇年

條件

- 一 河岸ヲ掘鑿スヘカラス
- 一 舟筏航運上障害トナラサル様設備スヘシ
- 一 河川流幅五分ノ一以上ノ魚道ヲ開通スヘシ

漁業權者代表者

有田郡八幡村大字蓮井

小池市松

○通牒照會

内五第三一三二號五

依命通牒

明治四十一年八月廿一日

内務部長 佐藤孝三郎

郡市 長殿

町村 役場御中

販賣組合ニ地主加入ノ件ニ付左記通牒候也

一 地主方農業ニ關スル何等ノ行爲ヲ爲サズ單ニ其ノ所有地ヲ貸付シ地代トシテ小作米ヲ取得ス

ル場合ニ於テハ其米ノ生産者ト云フコトヲ得サルコトハ勿論ノ義ナルモ地主ニシテ常時其ノ

所有地ノ生産ニ付企業者ノ如ク干與シテ小作米ヲ收納スル者ハ其ノ收納米ニ付自ラ生産シタ

ルモノトシテ取扱フ事ニ省議決定ノ旨農商務次官ヨリ通知有之ニ付販賣組合ニ地主ヲ加入セ

シムルモノニ付テハ右ニ依リ相當處理スヘキ様示達相成度

右

内五第三〇九〇號一

通牒

明治四十一年八月廿一日

内務部長 佐藤孝三郎

郡市 長殿



町村役場御中

全國特産品博覽會開催ノ件左記通牒候也

京都府京都市岡崎町博覽會館ニ於テ京都實業団体主催トナリ別紙規則ニ依リ全國特産品博覽會開設ノ旨ヲ以テ京都府ヨリ出品勸誘方依頼アリ當業者へ可然勸奨相成度

右

別紙

全國特産品博覽會規則

第一章 總則

第一條 本會ハ明治四十一年九月二十日ヨリ十一月八日迄五十日間本市岡崎町博覽會館ニ於テ開設ス

第二條 本會ハ本邦特産品ノ進歩ヲ誘發シ販路ノ擴張ヲ希圖シ兼テ外國輸出ノ獎勵ニ資スルヲ以テ目的ス

第三條 本會出品ノ概目左ノ如シ

織物、染物、刺繡、友仙染、鹿ノ子、糸、糸組物、牛粉、陶磁器、七寶、金屬器、漆器、木具、  
指物、玻璃器、彫刻、扇子團扇、紙製品、紙、室内用具裝飾品、樂器、文房具、玩具、寫眞、  
印刷物、衣服、裝身具、化粧品、履物類、茶、酒、醬油、酢其他飲食物、農産水産物及製品、機  
械及製作用具、醫療器械及材料、皮革製品、車輛、土木建築加工材料、麥稈具田、經木具田、  
園藝品、其他各種製作工藝品、山林産物及製品、

第四條 左ノ物品ハ出陳スルコトヲ得ス

一 發火及ヒ爆發性ノモノ、他ノ物品ニ損害ヲ與フル虞シアルモノ、衛生ニ害アルモノ、汚穢醜体ノモノ

二 前項ノ物品ハ廣告招牌ト雖トモ出陳スルコトヲ得ス

第五條 出品物者ハ出品物ト同種ノモノヲ製造シ又ハ販賣スルモノカルク要ス

第六條 出品陳列間數壹間（間口六尺奥行三尺已内ヲ以テ壹間）ニ付金壹圓ノ場所使用料ヲ本會事務所ニ納ムヘシ

第七條 會場ノ全体ニ對シテ本會ハ相當ノ保護ヲ爲スト雖ヒ天災、火災、盜難及其他ノ事故ニ依リ物品毀損又ハ紛失等一切ノ損害ハ其責ニ任セス

### 第二章 出品及陳列

第八條 本會ニ出品セントスルモノハ八月二十五日迄ニ第一號書式ニ依リ場所使用料及ヒ出品入會料トシテ一名金叁拾錢ツノヲ添ヘ所要陳列間數ヲ申込ムヘシ

但シ使用料并ニ入會料ヲ添付セザル申込書ハ無効トス

第九條 申込間數本會ノ豫定ニ超過スルホハ之ヲ減少スルコトアルマシ前項ノ場合ニ於テハ其旨通知ト共ニ減少シタル場所使用料ヲ返戻ス

第十條 申込者ハ自己ノ便宜ニ依リ申込間數ノ全部若クハ幾分ヲ取消シ使用セサルモ使用料及入會料共返戻セス

第十一條 出品者ハ出品ノ往復運搬、看視、陳列要具及陳列場所ノ裝置構造等ハ出品者又ハ代人ヲ以テナスモノトス

但シ陳列場ノ裝置構造ニシテ本會ニ支障アルトキハ改造セシムルコトアルヘシ

第十二條 會場ノ通路ハ必ス本會ノ指定圖ニヨルヘシ若シ陳列上之レカ變更ヲ要スル場合ハ本會事務所ノ承認ヲ經ヘシ

第十三條 出品陳列ハ九月十九日迄ニ必ス整頓セシメ同時ニ第二號書式ノ出品目錄ヲ差出スルシ又々出品ハ隨時追加スルコトヲ得此場合ニ於テハ目錄追出スベシ

但シ同日迄ニ陳列ヲ完備セシ者ニハ賞品ヲ贈與ス

第十四條 出品ニハ必ス出品目錄ニ記載シタル番號、品名、賣價(非賣品ナレハ其旨)及ヒ出品者氏名ヲ付スベシ

前項ノ用紙ハ本會事務所ヨリ交付ス

第十五條 出品者ハ會期中其陳列場ヲ閉鎖シ又ハ出品ヲ撤去シ其他會場ノ体裁ヲ亂スヘキ行爲ヲナスコトヲ得ス

第十六條 出品者ハ物品ヲ搬出セントスルトキハ本會事務所ニ届出搬出証ヲ請フヘシ

### 第三章 審査及褒賞

第十七條 審査ハ請求品ニ對シ審査スルモノトス

但シ審査方法ハ別ニ之ヲ定ム

第十八條 審査請求書ハ第三號書式ニ依リ出品目錄ト共ニ差出スヘシ

但シ特ニ説明ヲ要スル出品ニ對シテハ解説書ヲ添付スヘシ

第十九條 褒賞左ノ等級ニ依リ賞狀ヲ授與ス

名譽賞

進歩一等賞

有功一等賞

進歩二等賞

有功二等賞

進歩三等賞

有功三等賞

褒賞

第二十條 同一出品者ニシテ二個以上授賞スヘキモノアルトキハ各別ニ(同等ナレバ)其賞狀ヲ

授與ス

第二十一條 出品者ハ審査上ニ就キ再審査ヲ請ヒ又ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二十二條 審査ハ十月一日ヨリ開始シ同十五日ニ結了スルモノトス

第二十三條 褒賞授與式ハ十一月一日ヲ以テ舉行ス

#### 第四章 出品販賣

第二十四條 出品ハ審査品ヲ除クノ外即賣スルコトヲ得

第二十五條 普通出品及ヒ審査品ヲ賣約シタルトキハ賣約証ヲ買主ニ交付スベシ

第二十六條 出品ノ代價ヲ變更シ及ヒ割引ヲ爲スコトヲ得ス

但シ特別ノ事情アルトキハ本會事務所ニ申出承認ヲ受ベシ

第二十七條 出品ヲ賣渡シタルトキハ必ス其票箋ニ認印シテ買主ニ交付スベシ

第二十八條 出品者ハ一週間毎ニ賣上ケ賣約共(金額及點數)ヲ第三條ノ類別ニ從ヒ本會事務所ヘ

報告スヘシ

#### 第五章 雜則

第二十九條 出品看護ニ從事スルモノハ別ニ定ムル處ノ取締規程ヲ遵守スベシ

第三十條 開場時間ハ毎日午前八時ヨリ午後五時迄トス

但シ時宜ニ依リ之ヲ伸縮スルコトアルベシ

第三十一條 來觀者ノ入場料ハ壹名壹參錢トス

但シ隊ヲ成シタル軍人、學校生徒及七歳迄ノモノハ無料トス

第三十二條 來觀者心得ハ別ニ之ヲ定ム

明治四十一年七月

全國特産品博覽會

第一號(規則第八條)用紙適宜)

申 込 書

一出陳間數 何 間

此使用料金何程

一出品入會料 (壹名又ハ何名分)

金 何 程

一出品種類 何 々

計(金)何程

右ハ貴會へ出品致度候ニ付御制定ノ諸規則ヲ承認シ前記使用料并ニ入會料相添へ此段申込候也

明治四十一年 月 日

住 所

何 某 印

全國特產品博覽會事務所御中

第二號書式(規則第十三條)(用紙適宜)

出品目錄

出品番號	品名	個數	賣價	非賣品ナレバ其實

計何點

賣價金何程

右出品候也

明治四十一年 月 日

住所

何某 印

全國特產品博覽會事務所御中

第三號書式(規則第十八條)(用紙適宜)

審查請求書

出品番號	品名	個數	價格	適用	產地

右審查請求候也

明治四十一年 月 日

住所

何某 ㊦

全國特產品博覽會事務所御中

陳列戶棚貸與規定

四方硝子 (三尺四方)

開期中壹個 金貳圓五拾錢

正面硝子 (間口六尺奥行三尺)

同上 金壹圓五拾錢

陳列臺 (同上)

同上 金貳拾錢

○觀測

明治四十一年八月十六日ヨリ三日間當地氣象概況(前年對照)

種目	八月十六日		八月十七日		八月十八日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五五耗〇	七五六耗〇	七五八耗二	七五七耗八	七五八耗八	七六〇耗一
平均氣溫	二四度七	二七度〇	二五度二	二六度九	二六度一	二五度三
最高氣溫	二八度一	三二度七	二九度三	三二度二	三〇度〇	二九度九
最低氣溫	二二度五	二三度〇	二一度八	二三度〇	二一度五	二二度三
最多風向	東	北	西南西	南西	南西	西
平均風力	二米〇	二米一	二米四	二米八	三米二	三米二
天氣	曇少雨	晴	晴	晴	晴	晴驟雨
降水量	二二耗〇	一	一	一	一	二〇耗三
記事現象	午前降雨ス 全十一時内陸ノ警戒ヲ解除ス	一	一	夜間東方ニ發電	午前十一時沿海ノ警戒ヲ解除ス 夜間東方ニ發電	曉間南西ニ電 雷午前十一時七分廿五秒微震 午后雷雨

明治三十三年八月三日禮郵便物認可

（每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行）

明治四十一年八月二十日印刷

（變頁代價）

和歌山縣

印刷人 和歌山市久保町一丁目一番地 山本大次郎